

市長への提言 令和4年9月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
障害者対応について(日常生活用具給付)	<p>ストマを利用しています。ガーゼを認めてもらいたいです。1000円以下の繰り越しを半年以内で認めてもらえれば助かります。</p>	<p>日常生活用具の給付事業の一つとしてサージカルテープや固定ベルトなどのストマ装具の給付を行っておりますが、ガーゼにつきましては、汎用性が高いことから現在は支給対象から除外させていただいております。</p> <p>2019年に大阪府より、繰り越し禁止などの注意喚起が行われたことを受け、支給対象品目を明確化してまいりました。ストマ装具は、消耗品という性質から、使用せずに余っている品目がある場合には、次月に使用することが可能であるため、適正な運用を行う観点から、実際の納品額や納品内容を確認させていただいております。</p> <p>また、給付上限額につきましては、物価上昇等をふまえて国より改定する旨の通知があった場合には、近隣市とのバランスを考慮しつつ調整し、改定の判断を行っております。今後、本市としましては、国・府に対して機会をとらまえ要望してまいります。</p>	2022/8/4	2022/9/30	障害企画課
家庭用生ごみ処理機の購入助成金について	<p>生ごみ処理機を使用する家庭が増えれば、家庭からの生ごみの排出量の削減や、ごみ収集箇所のカラス被害の軽減、市のごみ処理費用の削減などに効果があるかと思えます。枚方市も助成金を導入してはいかがでしょうか。</p>	<p>生ごみ処理機の購入助成を以前は行っておりましたが、臭いの発生や騒音問題のほか、維持管理にコストがかかるなどの課題があり、平成21年度に事業を廃止いたしました。しかしながら、現在販売されている生ごみ処理機では、以前のような課題は解消されつつありますので、改めて助成事業の再開を検討する余地があるのではないかと考えております。</p> <p>生ごみ処理機の活用は、ごみの減量化に有効であると考えておりますので、他の自治体の取り組み等も参考にしながら、再開の可能性を検討してまいります。</p>	2022/8/5	2022/9/20	ごみ減量推進課
物価高騰における子育て世帯への支援について	<p>平均的な収入のある世帯(住民税課税世帯)にももう少し目を向けて頂きたい。生活は毎月余裕も無く厳しい中での生活が続いています。どうか子育て世帯へ制限の無い平等な対応をご検討下さい。</p>	<p>本市では安心して楽しく子育てできる環境の充実にまちづくりの重点施策に位置付け、課税状況に関わらず第2子以降の保育料無償化(0～2歳)や世帯単位での子ども医療費助成など、他市にない子育て世代の負担軽減策に取り組んでいるところです。限られた財源の中で、取り組む施策は自治体によって様々ですが、コロナ禍における原油価格や物価高騰に直面する市民の皆様の影響にも目を向けながら、子育てしやすいまちづくりを更に進めてまいります。</p>	2022/9/1	2022/9/29	子ども青少年政策課
子育て支援に関する意見について	<p>他市は子育て支援に力を入れてますが、枚方市にそのようなビジョンはあるのでしょうか？他市は0歳から保育料がかからないです。</p> <p>昨今、枚方市では市役所の人員を減らしており、人事異動に関しても適材適所と言う概念がありません。人事とはそういった問題を円滑に解決するところではないのでしょうか。人員を減らすばかり考えず、子育て関係に人員を増やし対策を取って行くべきだと思います。</p>	<p>本市では、安心して楽しく子育てできる環境の充実に、まちづくりの重点施策に位置づけ、第2子以降の保育料無償化(0～2歳)や、世帯単位での子ども医療費助成など、未来を担う子育て世代の定住促進につながる施策を進めているところです。</p> <p>人口減少や少子高齢化で労働人口の減少が進む中、より効率的・効果的な組織体制を構築するためには、ICTを積極的に活用しながら事務の効率化に取り組み、職員数の最適化も進めていかなければならないと考えております。</p> <p>人員体制につきましては職員の能力が十分発揮できるよう適材適所での配置を行うとともに、子育て支援をはじめとした様々な施策の充実に向けて体制強化を図ってまいります。</p>	2022/9/1	2022/9/29	
LGBT、特にトランスジェンダーへの施策について	<p>トランスジェンダーにとって、体育施設やプールなど公共施設の利用の際に一番の悩みは「更衣室」の問題です。市の体育施設やラポールにある温水プールなどを積極的に利用したいと思っても、男女別の更衣室しかないようです。他市などでは「多目的更衣室」を設置されていることも増えてきましたが、今後、枚方市でも対応を検討されていくのでしょうか。</p>	<p>LGBTなどの性的マイノリティの方々は、日常生活を送る上で、さまざまな困難に直面されています。すべての人の人権が尊重されるまちづくりを実現するための取り組みの一つとして、現在、トランスジェンダーの方が更衣室等を利用される場合には、ご希望や個別の事情をお伺いしながら、個々に対応策を検討させていただいておりますが、職員が適切な対応が行えるよう人材育成にも努めているところです。</p> <p>今後は、いただいたご意見も参考に、施設の新設や改修の際には、誰もが利用しやすい施設づくりを目指してまいります。</p>	2022/9/5	2022/9/29	人権政策室

市長への提言 令和4年9月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
子ども医療費助成制度の件について (同内容2件あり)	枚方市の子ども医療費助成制度の対象年齢を18歳になる年度の3月31日までに拡充しては いかがでしょうか。	本市では安心して楽しく子育てできる環境の充実をまちづくりの重点施策に位置付け、第2子以降の保育料無償化(0~2歳)や世帯単位での子ども医療費助成など、他市にない子育て世代の負担軽減策を進めております。限られた財源の中で、取り組む施策は自治体によって様々ですが、ご要望いただいた子ども医療費助成の拡充の検討を含め、子育て世代の負担軽減策を更に進めてまいります。	2022/9/7	2022/9/21	医療助成課